



2022年5月6日

各 位

会社名 株式会社 コビテック
代表者名 代表取締役社長 大内 雅雄
(スタンダード・コード6662)
問合せ先 役職・氏名
グループ管理部 部長 手塚 佑介
電 話 03-5447-6731

通期連結業績予想に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年2月4日に公表いたしました「2022年6月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2022年6月期の通期連結業績予想を、以下の通りといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年6月期通期連結業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	1,211	△190	△189	△193	△13円05銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年6月期)	1,291	△138	△137	△449	△30円60銭

2. 業績予想公表の理由

2022年6月期の連結業績予想につきましては、当社グループを取り巻く事業環境の変化や新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的な算定を行うことが困難な状況であったことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や業績動向等に基づき、業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

売上高につきましては、カーシェア車載機の受注が増加していることに加え、安全見守りサービス「Work Mate」につきましても積極的な広告宣伝活動や販促効果が寄与し、受注件数は増加傾向にある一方で、紙幣鑑別センサモジュールのキャッシュレス化による影響、テレマティクス車載機の出荷停止による影響及び子会社のユビテックソリューションズにおける既存の開発案件の規模縮小による影響を受け、売上高は前期と比べ6%程度の減収となる見通しです。

営業利益及び経常利益につきましては、売上高の減少による影響に加え、原材料価格の高騰や広告宣伝費等の販管費の増加により、損失幅は前期より拡大する見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益は固定資産の減損損失及びテレマティクス車載機製品の自主回収に伴う費用が前期と比較して減少する予定であることから、損失幅は縮小する見通しです。

〔注〕以上の業績予想は、現時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動及び経済情勢等の変化により、実際の業績と本開示内容における見通しとは異なる可能性があります。

以上